

| 扱い月 | 扱い時数 年間計 60 | 題材名等 | 題材の目標等 | 学習のねらい | 教材名 ◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり | 学習指導要領の内容との関連(例) | | | | | | | | | | | | 教育基本法との対照 /他教科等との関連 | | |
|-----|-------------------|------------------|---|----------------------------------|--|------------------|---|---|----|---|---|-------|---|---------------------|-------|---|---|------------------------|-----------------|--|
| | | | | | | A 表現 | | | | | | B 鑑賞 | | 〔共通事項〕(1)に 関する事項 | | | | | | |
| | | | | | | 歌唱 | | | 器楽 | | | 音楽づくり | | | 鑑賞(1) | | | | | |
| | | | | | | ア | イ | ウ | ア | イ | ウ | ア | イ | ウ | ア | イ | ア | | イ | |
| 4 | 随時 | [巻頭教材] | (1) 曲想と旋律やリズム、反復など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律やリズム、反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 曲の特徴を捉えたり、互いの歌声などを聴き合って表現する活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、友達と表現することの楽しさを感じる。 | | ありがとうの花 | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | 毎時 | [スキルアップ] | (1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、リズムフレーズのつなげ方や重ね方について気付くとともに、呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない声で歌う技能や、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。 (2) 旋律やリズム、音の重なりを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想に合った表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 言葉の面白さを生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、輪唱やボイスアンサンブルに親しむ。 | (歌声とリズムのトレーニング) | 早口 ☆早口言葉でラップを楽しもう！ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | 創造性を培う/国語科との関連 | | |
| | 2 | (にっぽんのうた みんなのうた) | (1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律、音階、音色、反復や変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、箏の音楽のよさを見いだし聴いたりする。 (3) 日本のうたをもとにした音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、箏の音楽に親しむ。 | | ◆さくら さくら ◎さくら愛そう曲 | ○ | ○ | ○ | | | | | | ○ | | | | 伝統と文化の尊重 | | |
| 5 | 6 | 1 はくとせんりつ | (1) 曲想と拍や速度など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに合った表現をするために必要な、互いの歌声や音、伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、楽器を演奏したりする技能を身に付ける。 (2) 拍や旋律、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだし聴いたりする。 (3) 拍子の特徴を捉えて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、いろいろな拍子の音楽に親しむ。 | ひょうしのちがいを感じ取り はくの流れにのって歌おう | ラバーズ コンチェルト ◎メヌエット ◎トルコ行進曲 マリーさんの羊 ユーアルワイス | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | 創造性を培う | | |
| 6 | 4 | 2 ひびきのある歌声 | (1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や副次的旋律、伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2) 音色や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌声や旋律のよさや楽しさを見いだしミュージカルの音楽を聴く。 (3) いろいろな歌声を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ミュージカルの音楽に親しむ。 | いろいろな歌の表げんを楽しもう きき合いながら楽しく歌おう | ◎ミュージカル「サウンド オブ ミュージック」から ブハブ | ○ | ○ | ○ | | | | | | ○ | ○ | | | | 創造性を培う/幅広い知識と教養 | |
| | 1 | (にっぽんのうた みんなのうた) | (1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。 | | ◆まきばの朝 | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | 伝統と文化の尊重 | | |
| 7 | 2 | (音のスケッチ) | (1) 音の動き方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり、組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。 (2) 旋律やフレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ている。 (3) 音の動き方を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、旋律やフレーズに親しむ。 | 音の動き方を生かしてせんりつをつくろう | ☆音の動き方を生かしてせんりつをつくろう | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | | | | |

| 扱い月 | 扱い時数 | | 題材名等 | 題材の目標等 | 学習のねらい | 教材名 ◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり | 学習指導要領の内容との関連(例) | | | | | | | | | | 教育基本法との対照 /他教科等との関連 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|------------|--|--|---|---|-------------------------|------------------|---|---|------|---|---------------------|---|---|---|---|------------------------|-----------------|---|--|-----------------------|---|------------|---|---------------------|----------------------|-------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|-----------------|---|------------------|
| | 年間計 60 | 毎時 | | | | | A 表現 | | | B 鑑賞 | | 〔共通事項〕(1)に 関する事項 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | 歌唱 | | | 器楽 | | 鑑賞(1) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | ア | イ | ウ | ア | イ | ウ | ア | イ | ア | イ | | ア | イ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9 | 4 | 3曲に合った歌い方 | <p>(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技術を身に付ける。</p> <p>(2) 旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。</p> <p>(3) 曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。</p> | サミングにちょう戦しよう ひびきを大切に歌い方をくふうしよう せんりつの特ちょうを生かして歌おう | ハロー サミング 「ものけ姫」から ゆかいに歩けば ◆とんび | ○ ○ ○ ○ ○ ○ | | | | | | | | | | | | (音色/旋律/縦と横との関係) | | | 創造性を培う | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | 4 かけ合いと重なり | <p>(1) 曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付く。</p> <p>(2) 音色、呼びかけとこたえ、音の重なり、旋律、反復、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴く。</p> <p>(3) 楽器の響きやかけ合いなどの面白さを捉えて聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、オーケストラの響きに親しむ。</p> | かけ合いや重なりのおもしろさを味わおう | ◎「水上の音楽」から アラ ホーンパイプ | | | | | | | | | | | | | | 創造性を培う/幅広い知識と教養 | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 〈にっぽんのうた みんなのうた〉 |
| 6 | 5 日本と世界の音楽 | <p>(1) 曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技術を身に付ける。</p> <p>(2) 旋律や音色、リズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもったり、音楽のよさを見だし、味わって聴いたりする。</p> <p>(3) 我が国や諸外国に伝わるいろいろな音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、生活の中から生まれた多様な音楽に親しむ。</p> | 伝えられてきた歌を楽しもう おぼやしのリズムを楽しもう 世界に伝わるいろいろなリズムや歌を楽しもう サンバのえんそうを楽しもう | ソーラン節 ◎ソーラン節 ☆おぼやしづくりにチャレンジ ◎秩父屋台おぼやし/◎葛西おぼやし ◎サムルノリ/◎サンバの音楽 朝の歌 おどれサンバ | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ | | | | | | | | | | | | | | | | 伝統と文化の尊重/郷土を愛する/他国の尊重 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 〈音のスケッチ〉 | <p>(1) 様々な音階の響きの特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技術を身に付ける。</p> <p>(2) 旋律や音階などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや、音階による旋律の雰囲気の違いを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得る。</p> <p>(3) 音階をもとにして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本の旋律に親しむ。</p> | 音階をもとにして音楽をつくろう | ☆音階をもとにして音楽をつくろう | ○ ○ ○ | | | | | | | | | | | | | | | |

| 扱い 月 | 扱い時数 年間計 60 | 題材名等 | 題材の目標等 | 学習のねらい | 教材名 ◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり | 学習指導要領の内容との関連(例) | | | | | | | | | | | | 教育基本法との対照 /他教科等との関連 | | |
|---------|-------------------|-----------------------|--|--------------------------|-------------------------|------------------|---|---|----|---|---|-------|---|---------------------|-------|---|---|------------------------|-----------------------|-----------------|
| | | | | | | A 表現 | | | | | | B 鑑賞 | | 〔共通事項〕(1)に 関する事項 | | | | | | |
| | | | | | | 歌唱 | | | 器楽 | | | 音楽づくり | | | 鑑賞(1) | | | | | |
| | | | | | | ア | イ | ウ | ア | イ | ウ | ア | イ | ウ | ア | イ | ア | | イ | |
| 1 | 3 | 6 パートの役わり | (1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音色に気を付け、互いの音を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。 (2) フレーズや音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。 (3) 曲想や声部の役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、タンゴの音楽や合奏に親しむ。 | パートの役わりを生かして生き生きとえんそうしよう | ラクンバルシータ | | | | | | | | | | | | | | 創造性を培う/公共の精神 | |
| | 3 | 7 音楽のききどころ | (1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付く。 (2) 音色、旋律、反復、変化、強弱、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴く。 (3) 曲想とその変化を捉えて聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、オーケストラの響きに親しむ。 | 曲の流れを感じ取り、全体を味わってきこう | ◎ノルウェー舞曲 第2番 | | | | | | | | | | | ○ | ○ | 旋律/速度/強弱/音色/反復/変化/調 | 創造性を培う/幅広い知識と教養 | |
| 2 | 2 | 8 思いに合った表げん 選択A 器楽 | (1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの音や伴奏を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。 (2) 音色や旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。 (3) 音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。 | 気持ちを合わせて美しいひびきでえんそうしよう | 遠き山に日は落ちて | | | | | | | | | | | | | (今まで学んだものを生かす) | | |
| 3 | 2 | 8 思いに合った表げん 選択B 歌唱 | (1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2) 音色や旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。 | 気持ちを合わせて美しいひびきでえんそうしよう | グッデー グッバイ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | (今まで学んだものを生かす) | | |
| | 3 | (音のスケッチ) | (1) フレーズなどのつなげ方や重ね方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さに関わらせて気付くとともに、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。 (2) フレーズ、呼びかけとこたえ、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりして表現を工夫する。 (3) 役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽の縦と横との関係に親しむ。 | 役わりをもとに音楽をつくろう | ☆役わりをもとに音楽をつくろう | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | フレーズ/呼びかけとこたえ/縦と横との関係 | 幅広い知識と教養/創造性を培う |

| 扱い 月 | 扱い時数 年間計 60 | 題材名等 | 題材の目標等 | 学習のねらい | 教材名 ◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり | 学習指導要領の内容との関連(例) | | | | | | | | | | 教育基本法との対照 /他教科等との関連 | | | | | | | | | | |
|---------|-------------------|------------------|--|--------------|-------------------------|---|---|---|----|---|---|-------|---|---------------------|-------|------------------------|---|---|---|--|---------|--|-------------------|-------|----------|----------------------------------|
| | | | | | | A 表現 | | | | | | B 鑑賞 | | 〔共通事項〕(1)に關 する事項 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | 歌唱 | | | 器楽 | | | 音楽づくり | | | 鑑賞(1) | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | ア | イ | ウ | ア | イ | ウ | ア | イ | ウ | ア | | イ | ア | イ | | | | | | | |
| 随時 | 2 | [いろいろな歌声を楽しもう] | (1) 曲想と、歌声や旋律など音楽の構造との関わりに気付く。 (2) 音色や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏のよさを見い出して聴く。 (3) いろいろな歌声の特徴を捉えて音楽を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、歌劇の音楽に親しむ。 | いろいろな歌声を楽しもう | ◎歌げき「魔笛」から | | | | | | | | | | | | | | | | (音色/旋律) | | 幅広い知識と教養/創造性を培う | | | |
| | 随時 | [ことのみりよく] | (1) 箏の音色と演奏の仕方との関わりに気付くとともに、音色や響きに気を付けて、演奏する技能を身に付ける。 (2) 箏の音色を聴き取り、その働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。 (3) 箏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、我が国の楽器や音楽に親しむ。 | | さくら さくら | | | | | | | | | | | | | | | | (音色/旋律) | | 伝統と文化の尊重/幅広い知識と教養 | | | |
| | | [音楽ランド] | (各題材の発展や補充、行事や他教科との関連) | | | 半月 沖永良部の子もり歌 北風こぞうの寒太郎 まきはの こうし 飛べよツバメ カルーヨ 魔法のすず 札幌の空 (全校合唱) 音楽のおくりもの さんぽ (Short Time Learning) I Love the Moutains Sakura Sakura | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 幅広い知識と教養/創造性を培う/公共の精神 英語科との関連 |
| | 2 | | | | 校歌・君が代 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 公共の精神 | | |
| | | [にっぽんのうた みんなのうた] | | きせつのうた | どこかで春が/みかんの花さくおか/里の秋 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 伝統と文化の尊重 | |